

総論

1 はじめに

わたしたちが生活している地球上は豊かな緑に覆われ、空には鳥やチョウが舞い、地上にはネズミが走り、川や湖には魚が泳ぎ、それらは生物多様性という言葉で表現される。現在、日本は、そして福井県は豊かな自然環境に満ちている。しかし、野生生物の種は急速に減少しつつあることに注目しなければならない。生物多様性には、3つのレベルの多様性がある。つまり(1)遺伝子の多様性、(2)種の多様性、(3)生態系の多様性である。われわれは自然資源の持続可能な利用と生物多様性の保全を計らねばならない。近年、保全生物学の重要性が叫ばれるようになったのはそのためである。

どこの小川にもたくさんいたメダカは、もはや絶滅に瀕している。1938年発行の「原色福井県昆虫図譜」にはタガメは県下一円に分布とされているが、現在は絶滅危惧Ⅰ類とランクされる。中学校や高校の生物教材として自由に利用していたトノサマガエルは、もはや入手困難になってしまった。

絶滅のおそれのある野生生物を保全するために、国際自然保護連合（IUCN）は保全のためのカテゴリー（レッドデータブックカテゴリー）を定めた（1984）。そのカテゴリーは1994年改訂され、それを受けて環境庁（現環境省）は、IUCN 新カテゴリーに準拠した日本の新たなレッドデータブックカテゴリーとして、「絶滅」、「野生絶滅」、「絶滅危惧ⅠA類」、「絶滅危惧ⅠB類」、「絶滅危惧Ⅱ類」、「準絶滅危惧」、「情報不足」等を策定した（環境庁1997）。詳細は別表を参照していただきたい。さらに本書では、福井県カテゴリーとして、「県域絶滅」、「県域絶滅危惧Ⅰ類」、「県域絶滅危惧Ⅱ類」、「県域準絶滅危惧」、「要注目」を区分した。

福井県版レッドデータブックは、福井県における野生生物の生息生育状況を現時点で評価し、絶滅のおそれのある種の現状をとりまとめ、また、それを公表することにより、本県の生物多様性を保全する観点から、野生生物の適切な保全対策、県民の普及啓発施策の推進を図ることを目的とする。そして、期待される効果として、福井県に生息生育する野生生物種を絶滅させないための各種施策の基礎資料として活用できる、環境アセスメントの実施に当たって、特に配慮すべき生物種を明確化することができる、自然との共生に向けて県民や事業者の自然環境保全に係る意識の高揚に資することができる、以上のようなことが考えられる。

レッドデータブックの活用によって、豊かな生物多様性が保全されることを念願するものである。

2004年（平成16年）3月

福井県自然環境保全調査研究会 会長 佐々治 寛之

2 「福井県の絶滅のおそれのある野生植物」について

(1) 作成の目的

レッドデータブックとは、絶滅のおそれのある野生生物をリストアップし、それぞれの種についての生息・生育状況や絶滅の危険度について解説した報告書である。そのはじめは IUCN（国際自然保護連合）から1966年に出版された世界レベルでの報告書だが、その後各国で順次出版され、日本でも環境省（旧環境庁）等により、国内の野生生物についてまとめたものが刊行されている。これらの報告書は各種開発行為の実施等に際し、自然環境の保全や野生生物の保護に配慮するための基礎情報として多方面で活用されている。

しかしながら、本来、野生生物の分布状況や生息・生育密度は地域によって異なるため、全国的には絶滅のおそれが低くとも地域的には存続が危ぶまれるという種も存在する。そこで必要となるのが、対象地域を絞り込んだ地方版レッドデータブックであり、すでに多くの都道府県においてその作成が検討・実施されているところである。

本書は、福井県に生育する野生植物を対象に、最新の知見をもとにそれぞれの種の現時点での絶滅のおそれを評価した福井県版のレッドデータブックであり、今後、本県における生物多様性保全への取組みのための基礎資料として活用されることを目的に作成されたものである。

(2) 調査・検討体制

福井県の生物多様性に関する調査は、福井県自然環境保全条例に基づき1973年から定期的に福井県自然環境保全調査研究会によって実施されてきた。同研究会は、県内の大学、小中高校の教職員および民間の研究者等で構成された団体であり、最近では平成4年度から平成10年度にかけて、県内全域を鳥獣、昆虫、陸水生物、両生爬虫類、陸産貝類、地形地質、植生、景観の各分野で調査を実施している。また、その成果は、「福井県のすぐれた自然」、「福井県昆虫目録」、「福井県の陸水生物」、「福井県の両生類・爬虫類・陸産貝類目録」等の報告書にまとめられるとともに、本県のホームページをつうじて広く一般に公開されている。

本書を作成するにあたって、同研究会の会長をはじめとする県内外の専門家による「福井県版レッドデータブック作成検討委員会」を設置し、作成方針等について検討を行った。同研究会は、その方針に基づき、これまでに集積した情報を基礎とし、必要に応じて補完調査を並行させながら平成11年度から平成13年度までの3年間で動物編、平成13年度から平成15年度までの3年間で植物編の具体的な編集作業を進めた。

委員（アルファベット順）

福井県版レッドデータブック作成検討委員会

委員名	所属（設置当時）
茨城 康弘	(財)自然環境研究センター 主任コーディネーター
小林 巖	福井県自然環境保全審議会会長
佐々治 寛之	福井大学教育地域科学部教授（福井県自然環境保全調査研究会長）
植田 明浩	環境庁自然保護局野生生物課野生生物専門官
横山 俊一	福井大学教育地域科学部助教授

福井県自然環境保全調査研究会

企画委員会

部会	氏名	所属
鳥獣部会	林 武雄	日本鳥類保護連盟理事
両生・爬虫類部会	長谷川 巖	武生市武生東小学校長
陸水生物部会	加藤 文男	仁愛女子短期大学教授
昆虫部会	佐々治 寛之	福井県自然環境保全調査研究会長
植物部会	横山 俊一	福井大学教育地域科学部助教授

植物部会

氏名	所属	備考
安達 誘	福井陸水生物研究会	監修者
福永 吉孝	福井県立嶺南西養護学校	
平山 亜希子	福井県自然保護センター	
石本 昭司	元福井県立大野高等学校	
北川 博正	元勝山市立荒土小学校	
小林 則夫	元勝山市立勝山南部中学校	
黒田 明穂	福井県立勝山南高等学校	
松村 敬二	元勝山城博物館	
斉藤 寛昭	元福井県立鯖江高等学校	
斎藤 芳夫	日本シダの会会員	
澤崎 孝也	福井県立丹生高等学校	
多田 雅充	福井県自然保護課	
上坂 正夫	元福井県立若狭高等学校	
若杉 孝生	福井総合植物園	
渡辺 定路	福井市自然史博物館	
横山 俊一	福井大学教育地域科学部	

調査・編集協力（アルファベット順）

浅妻正子 福井市自然史博物館 福井総合植物園 神田美奈子 川内一憲 三原学 関岡裕明 柴田亮俊
八木健爾 吉村洋子

写真提供（アルファベット順）

青木進 安達誘 榎本博之 福井県自然保護センター 福井県植物研究会 福永吉孝 石本昭司 小林則夫
松本淳 小川憲彰 若杉孝生

この他、福井県植物図鑑から多くの写真を転載した。

(3) 評価の基準

評価基準は、環境省のカテゴリーの定性的要件（別表参照）を基本としながら、福井県が現時点で有する評価のための情報を考慮して表のとおり定めた。

また、個々の種の評価にあたっては、本書に掲載した種が環境省のレッドデータブックに掲載されている場合、原則としてそのランクを環境省のカテゴリー以上とした。

福井県レッドデータブックカテゴリーの定義

<p>● 県域絶滅 福井県内では野生では絶滅したと考えられる種</p>
<p>過去に福井県に生息したことが確認されているが、福井県において野生ではすでに絶滅したと考えられる種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <p>(1) 信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。 (2) 信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。</p> <p>【情報量が少ないもの】</p> <p>(3) 過去50年間前後の間に、信頼できる生息の情報が得られていない。</p>
<p>● 県域絶滅危惧Ⅰ類 ○絶滅の危機に瀕している種 ○現在の状態をもたらした圧迫要因が引続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。</p>
<p>次のいずれかに該当する種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <p>(1) 既知のすべての個体群で危機的水準にまで減少している。 (2) 既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。 (3) 既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 (4) ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。</p> <p>【情報量が少ないもの】</p> <p>(5) それほど遠くない過去(30年～50年)の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。</p>
<p>● 県域絶滅危惧Ⅱ類 ○絶滅の危険が増大している種 ○現在の状態をもたらした圧迫要因が引続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。</p>

次のいずれかに該当する種

【確実な情報があるもの】

- (1) 大部分の個体群で個体数が大幅に減少している.
- (2) 大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある.
- (3) 大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている.
- (4) 分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している.

● 県域準絶滅危惧

- 存続基盤が脆弱な種
- 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの.

次に該当する種

生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。

- a) 個体数が減少している.
- b) 生息条件が悪化している.
- c) 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている.
- d) 交雑可能な別種が侵入している.

● 要注目

- 評価するだけの情報が不足している種
- 地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性（具体的には、次のいずれかの要素）を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていない種

- a) どの生息地においても生息密度が低く希少である.
- b) 生息地が局限されている.
- c) 生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）
- d) 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている.
- e) 生息状況、学術的価値等の観点から、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される種の地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルで見た場合、絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの.
- f) 地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの.

(別表)

環境省のカテゴリー（環境庁,1997）

区分及び基本概念	定性的要件	定量的要件
絶滅 Extinct (EX) 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種（注1）	過去に我が国に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、我が国ではすでに絶滅したと考えられる種	
野生絶滅 Extinct in the Wild (EW) 飼育・栽培下でのみ存続している種	過去に我が国に生息したことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、我が国において野生ではすでに絶滅したと考えられる種 【確実な情報があるもの】 1. 信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。 2. 信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。 【情報量が少ないもの】 3. 過去50年間前後の間に、信頼できる生息の情報が得られていない。	

区分及び基本概念	定性的要件	定量的要件
絶滅危惧 THREATENED 絶滅危惧 I 類 (CR+EN) 絶滅の危機に瀕している種 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。	次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 1. 既知のすべての個体群で、機能的水準にまで減少している。 2. 既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。 3. 既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 4. ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 【情報量が少ないもの】 5. それほど遠くない過去(30年～50年)の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。	絶滅危惧 I A 類 (CR) A. 次のいずれかの形で個体群の減少がみられる場合。 1. 最近10年間もしくは3世代のどちらか長い期間(注2)を通じて、80%以上の減少があったと推定される。 2. 今後10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、80%以上の減少があると予測される。 B. 出現範囲が100km ² 未満もしくは生息地面積が10km ² 未満であると推定されるほか、次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。 1. 生息地が過度に分断されているか、ただ1カ所の地点に限定されている。 2. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に継続的な減少が予測される。 3. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 C. 個体群の成熟個体数が250未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。 1. 3年間もしくは1世代のどちらか長い期間に25%以上の継続的な減少が推定される。 2. 成熟個体数の継続的な減少が観察、もしくは推定・予測され、かつ個体群が構造的に過度の分断を受けるか全ての個体が1つの亜個体群に含まれる状況にある。 D. 成熟個体数が50未満であると推定される個体群である場合。 E. 数量解析により、10年間、もしくは3世代のどちらか長い期間における絶滅の可能性が50%以上と予測される場合。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">絶滅危惧 THREATENED</p>		<p>絶滅危惧 I B類 Endangered (EN) IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの</p>	<p>絶滅危惧 I B類 (EN)</p> <p>A. 次のいずれかの形で個体群の減少が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最近10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上の減少があったと推定される。 2. 今後10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上の減少があると予測される。 <p>B. 出現範囲が5,000km²未満もしくは生息地面積が500km²未満であると推定されるほか、次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生息地が過度に分断されているか、5以下の地点に限定されている。 2. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に継続的な減少が予測される。 3. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 <p>C. 個体群の成熟個体数が2,500未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5年間もしくは2世代のどちらか長い期間に20%以上の継続的な減少が推定される。 2. 成熟個体数の継続的な減少が観察、もしくは推定・予測され、かつ個体群が構造的に過度に分断を受けるか全ての個体が1つの亜個体群に含まれる状況にある。 <p>D. 成熟個体数が250未満であると推定される個体群である場合。</p> <p>E. 数量解析により、20年間、もしくは5世代のどちらか長い期間における絶滅の可能性が20%以上と予測される場合。</p>
	<p>絶滅危惧 II類 Vulnerable (VU) 絶滅の危険が増大している種</p> <p>現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。</p>	<p>次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 2. 大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 3. 大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 4. 分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。 	<p>A. 次のいずれかの形で個体群の減少が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最近10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、20%以上の減少があったと推定される。 2. 今後10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、20%以上の減少があると予測される。 <p>B. 出現範囲が20,000km²未満もしくは生息地面積が2,000km²未満であると推定され、また次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生息地が過度に分断されているか、10以下の地点に限定されている。 2. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等について、継続的な減少が予測される。 3. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 <p>C. 個体群の成熟個体数が10,000未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。</p>

絶滅危惧 THREATENED		<p>1. 10年間もしくは3世代のどちらか長い期間内に10%以上の継続的な減少が推定される。</p> <p>2. 成熟個体数の継続的な減少が観察、もしくは推定・予測され、かつ個体群が構造的に過度の分断を受けるか全ての個体が1つの亜個体群に含まれる状況にある。</p> <p>D. 個体群が極めて小さく、成熟個体数が1,000未満と推定されるか、生息地面積あるいは分布地点が極めて限定されている場合。</p> <p>E. 数量解析により、100年間における絶滅の可能性が10%以上と予測される場合。</p>
<p>準絶滅危惧 Near Threatened (NT)</p> <p>存続基盤が脆弱な種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。</p>	<p>次に該当する種 生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。</p> <p>a) 個体数が減少している。 b) 生息条件が悪化している。 c) 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 d) 交雑可能な別種が侵入している。</p>	
<p>情報不足 Data Deficient (DD)</p> <p>評価するだけの情報が不足している種</p>	<p>環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性（具体的には、次のいずれかの要素）を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていない種</p> <p>a) どの生息地においても生息密度が低く希少である。 b) 生息地が局限されている。 c) 生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）。 d) 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている。</p>	

(注1) 種：動物では種及び亜種、植物では種、亜種及び変種を示す。

(注2) 最近10年間もしくは3世代：1世代が短く3世代に要する期間が10年未満のものは年数を、1世代が長く3世代に要する期間が10年を超えるものは世代数を採用する。

● 付属資料

区分及び基本概念	定性的要件	定量的要件
<p>絶滅のおそれのある地域個体群 Threatened Local Population (LP)</p> <p>地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。</p>	<p>次のいずれかに該当する地域個体群</p> <p>1. 生息状況、学術的価値等の観点から、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される種の地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルで見た場合絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの。</p> <p>2. 地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。</p>	

(4) 選定結果

①カテゴリー別選定種数

【福井県カテゴリー別一覧】

	絶 滅	絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 II 類	準絶滅危惧	要注目	総 計	
維管束植物	シダ植物	1	31	13	10	9	64
	種子植物	12	128	117	66	71	394
小 計	13	159	130	76	80	458	
淡水藻類		12		3	19	34	
合 計	13	171	130	79	99	492	

【環境省カテゴリー別一覧】

	絶 滅	絶滅危惧 I A 類	絶滅危惧 I B 類	絶滅危惧 II 類	準絶滅危惧	総 計
維管束植物	シダ植物		4	5		9
	種子植物	1	6	27	58	12
小 計	1	6	31	63	12	113
淡水藻類			12		3	15
合 計	1		49	63	15	128

※ 環境省カテゴリー：「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物」
(財団法人自然環境研究センター 2000) による分類

②選定種一覧表

・環境省カテゴリー

「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物」(財団法人自然環境研究センター 2000) に基づいて記載した。

県域絶滅

分 類	科 名	種 名	学 名	環境省カテゴリー
維管束植物	ヒメシダ	テツホシダ	<i>Thelypteris interrupta</i> (Willd.) K. Iwats.	
維管束植物	キンポウゲ	オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i> (Thunb.) Spreng.	絶滅危惧 II 類
維管束植物	スイレン	オニバス	<i>Euryale ferox</i> Salisb.	絶滅危惧 II 類
維管束植物	ハマビシ	ハマビシ	<i>Tribulus terrestris</i> L.	絶滅危惧 I B 類
維管束植物	ヒメハギ	ヒナノカンザシ	<i>Salomonina oblongifolia</i> DC.	
維管束植物	セリ	ホタルサイコ	<i>Bupleurum longiradiatum</i> Turcz. subsp. <i>sachalinense</i> (Fr.Schm.) Kitag. var. <i>elatius</i> Kitag.	
維管束植物	ミツガシワ	ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i> (L.) O.Kuntze	絶滅危惧 II 類
維管束植物	ミツガシワ	アサザ	<i>Nymphoides peltata</i> (Gmel.) O.Kuntze	絶滅危惧 II 類
維管束植物	オモダカ	マルバオモダカ	<i>Caldesia parnassifolia</i> (Bassi ex L.) Parlat.	絶滅危惧 II 類
維管束植物	ヒルムシロ	リュウノヒゲモ	<i>Potamogeton pectinatus</i> L.	絶滅危惧 II 類
維管束植物	ヒルムシロ	カワツルモ	<i>Ruppia maritima</i> L.	絶滅危惧 I B 類
維管束植物	キンバイザサ	コキンバイザサ	<i>Hypoxis aurea</i> Lour.	
維管束植物	ラン	サギソウ	<i>Habenaria radiata</i> (Thunb.) Spreng.	絶滅危惧 II 類

県域絶滅危惧Ⅰ類

分類	科名	種名	学名	環境省カテゴリ
維管束植物	ヒカゲノカズラ	スギラン	<i>Lycopodium cryptomerinum</i> Maxim.	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ヒカゲノカズラ	ヤチスギラン	<i>Lycopodium inundatum</i> L.	
維管束植物	イワヒバ	ヒメクラマゴケ	<i>Selaginella heterostachys</i> Baker	
維管束植物	ミズニラ	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i> A.Br.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ハナヤスリ	ヒメハナワラビ	<i>Botrychium lunaria</i> (L.) Sw.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ハナヤスリ	ハマハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale</i> Komarov	
維管束植物	ゼンマイ	ヤシャゼンマイ	<i>Osmunda lancea</i> Thunb.	
維管束植物	コバノイシカグマ	ヒメムカゴシダ	<i>Monachosorum arakii</i> Tagawa	
維管束植物	コバノイシカグマ	フジシダ	<i>Monachosorum maximowiczii</i> (Bak.) Hayata	
維管束植物	ホウライシダ	ハコネシダ	<i>Adiantum monochlamys</i> Eaton	
維管束植物	シシラン	タキミシダ	<i>Antrophyum obovatum</i> Baker	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	イノモトソウ	ナチシダ	<i>Pteris wallichiana</i> Ag.	
維管束植物	チャセンシダ	オクタマシダ	<i>Asplenium pseudo-wilfordii</i> Tagawa	
維管束植物	チャセンシダ	ホウビシダ	<i>Asplenium hondoense</i> Murakami et Hatanaka	
維管束植物	オシダ	ナンタイシダ	<i>Dryopteris maximowiczii</i> (Bak.) O. Ktze.	
維管束植物	オシダ	ナチクジャク	<i>Dryopteris decipiens</i> (Hook.) O. Ktze.	
維管束植物	オシダ	ワカナシダ	<i>Dryopteris pycnopteroides</i> (Christ) C. Chr.	
維管束植物	オシダ	ナガバノイタチシダ	<i>Dryopteris sparsa</i> (Hamilt. ex D.Don) O. Ktze.	
維管束植物	オシダ	カタイノデ	<i>Polystichum makinoi</i> (Tagawa) Tagawa	
維管束植物	イワデンダ	トゲカラクサイヌワラビ	<i>Athyrium setuligerum</i> Kurata	
維管束植物	イワデンダ	シマイヌワラビ	<i>Athyrium tozanense</i> (Hayata) Hayata	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	イワデンダ	コガネシダ	<i>Woodsia macrochaena</i> Mett. ex Kuhn	
維管束植物	イワデンダ	フクロシダ	<i>Woodsia manchuriensis</i> Hook.	
維管束植物	ウラボシ	クラガリシダ	<i>Drymotaenium miyoshianum</i> (Makino) Makino	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ウラボシ	サジラン	<i>Loxogramme duclouxii</i> Christ	
維管束植物	ウラボシ	クリハラン	<i>Neocheiropteris ensata</i> (Thunb.) Ching	
維管束植物	ウラボシ	ヤノネシダ	<i>Neocheiropteris subhastata</i> (Bak.) Tagawa	
維管束植物	ウラボシ	アオネカズラ	<i>Polypodium niponicum</i> Mett.	
維管束植物	ウラボシ	イワオモダカ	<i>Pyrrosia hastata</i> (Thunb. ex Houtt.) Ching	
維管束植物	デンジソウ	デンジソウ	<i>Marsilea quadrifolia</i> L.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	アカウキクサ	オオアカウキクサ	<i>Azolla japonica</i> Franch. et Savat.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ヒノキ	ミヤマビャクシン	<i>Juniperus chinensis</i> L. var. <i>sargentii</i> Henry	
維管束植物	ニレ	コバノチョウセンエノキ	<i>Celtis biondii</i> Pampan.	
維管束植物	イラクサ	ホソバイラクサ	<i>Urtica angustifolia</i> Fischer	
維管束植物	ヤドリギ	ホザキノヤドリギ	<i>Hyphear tanakae</i> (Franch. et Savat.) Hosokawa	
維管束植物	ヤドリギ	ヒノキバヤドリギ	<i>Korthalsella japonica</i> (Thunb.) Engler	
維管束植物	ヤドリギ	マツグミ	<i>Taxillus kaempferi</i> (DC.) Danser	
維管束植物	ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ	<i>Balanophora nipponica</i> Makino	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	タデ	ホソバイスタデ	<i>Persicaria trigonocarpa</i> (Makino) Nakai	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	タデ	ヤナギヌカボ	<i>Persicaria foliosa</i> (H.Lindb.) Kitag. var. <i>paludicola</i> (Makino) Hara	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	タデ	サデクサ	<i>Persicaria maackiana</i> (Regel) Nakai	
維管束植物	ナデシコ	ハマハコベ	<i>Honkenya peploides</i> (L.) Ehrh. var. <i>major</i> Hook.	
維管束植物	キンボウゲ	ミチノクフクジュソウ	<i>Adonis multiflora</i> Nishikawa et Ko. Ito	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	キンボウゲ	アズマイチゲ	<i>Anemone raddeana</i> Regel	
維管束植物	キンボウゲ	エンコウソウ	<i>Caltha palustris</i> L. var. <i>enkoso</i> Hara	
維管束植物	キンボウゲ	ヒメバイカモ	<i>Ranunculus katusensis</i> Makino	絶滅危惧ⅠA類
維管束植物	ケシ	ヤマブキノソウ	<i>Chelidonium japonicum</i> Thunb.	
維管束植物	アブラナ	ユリワサビ	<i>Wasabia tenuis</i> (Miq.) Matsum.	
維管束植物	アブラナ	オオユリワサビ	<i>Wasabia tenuis</i> (Miq.) Matsum. var. <i>okinosisimensis</i> (Taken.) Kitam.	絶滅
維管束植物	バンケイソウ	アオバンケイ	<i>Hylotelephium viride</i> (Makino) H.Ohba	
維管束植物	バンケイソウ	ツメレンゲ	<i>Orostachys japonicus</i> (Maxim.) Berger	準絶滅危惧
維管束植物	ユキノシタ	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i> Pursh	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ユキノシタ	エチゼンダイモンジソウ	<i>Saxifraga acerifolia</i> Wakabayashi et Satomi	絶滅危惧ⅠA類
維管束植物	バラ	シロミノヤブヘビイチゴ	<i>Duchesnea indica</i> (Andr.) Focke f. <i>albocaput</i> Naruhashi	
維管束植物	バラ	カワラサイコ	<i>Potentilla chinensis</i> Ser.	
維管束植物	バラ	シロヤマブキ	<i>Rhodotypos scandens</i> (Thunb.) Makino	絶滅危惧ⅠB類

維管束植物	バラ	マルバクサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb. f. <i>simplicifolius</i> (Makino) Ohwi	
維管束植物	マメ	サイカチ	<i>Gleditsia japonica</i> Miq.	
維管束植物	マメ	エゾノレンリソウ	<i>Lathyrus palustris</i> L. subsp. <i>pilosus</i> (Cham.) Hult.	
維管束植物	ヒメハギ	カキノハグサ	<i>Polygala reinii</i> Franch. et Savat.	
維管束植物	ミソハギ	ミズキカシグサ	<i>Rotala litorea</i> (Miq.) Nakai	絶滅危惧 I B類
維管束植物	ヒシ	ヒメビシ	<i>Trapa incisa</i> Sieb. et Zucc.	絶滅危惧 II類
維管束植物	アリノトウグサ	フサモ	<i>Myriophyllum verticillatum</i> L.	
維管束植物	セリ	ボタンボウフウ	<i>Peucedanum japonicum</i> Thunb.	
維管束植物	サクラソウ	ヤナギトラノオ	<i>Lysimachia thyrsoflora</i> L.	
維管束植物	サクラソウ	クサレダマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> L. var. <i>davurica</i> (Ledeb.) R.Kunth	
維管束植物	サクラソウ	ハイハマボス	<i>Samolus parviflorus</i> Rafin.	絶滅危惧 II類
維管束植物	リンドウ	コヒナリンドウ	<i>Gentiana aquatica</i> L. var. <i>laeviuscula</i> (Ohwi) Ohwi	絶滅危惧 I B類
維管束植物	リンドウ	ムラサキセンブリ	<i>Swertia pseudochinensis</i> Hara	絶滅危惧 II類
維管束植物	リンドウ	テングノコヅチ	<i>Tripterospermum involubile</i> Yonezawa	絶滅危惧 I B類
維管束植物	キョウチクトウ	チョウジソウ	<i>Amsonia elliptica</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	絶滅危惧 II類
維管束植物	クマツヅラ	クマツヅラ	<i>Verbena officinalis</i> L.	
維管束植物	シソ	ジュウニヒトエ	<i>Ajuga nipponensis</i> Makino	
維管束植物	シソ	ミズネコノオ	<i>Eusteralis stellata</i> (Lour.) Murata	絶滅危惧 II類
維管束植物	シソ	ミズトラノオ	<i>Eusteralis yatabeana</i> (Makino) Murata	絶滅危惧 II類
維管束植物	シソ	シモバシラ	<i>Keiskea japonica</i> Miq.	
維管束植物	シソ	キセワタ	<i>Leonurus macranthus</i> Maxim.	絶滅危惧 II類
維管束植物	ナス	アオホオズキ	<i>Physalium savatieri</i> (Makino) Makino	絶滅危惧 II類
維管束植物	ゴマノハグサ	マルバノサワトウガラシ	<i>Deinostema adenocaulum</i> (Maxim.) Yamazaki	絶滅危惧 I B類
維管束植物	ゴマノハグサ	シソクサ	<i>Limnophila aromatica</i> (Lam.) Merrill	
維管束植物	ゴマノハグサ	スズメハコベ	<i>Microcarpaea minima</i> (Koenig) Merrill	絶滅危惧 I B類
維管束植物	ゴマノハグサ	エチゴトラノオ	<i>Pseudohysimachion hiusanum</i> (Furumi) Yamazaki subsp. <i>maritimum</i> (Nakai) Yamazaki var. <i>maritimum</i>	
維管束植物	ヒシモドキ	ヒシモドキ	<i>Trapella sinensis</i> Oliver	絶滅危惧 I A類
維管束植物	ハマウツボ	ハマウツボ	<i>Orobanchae coerulescens</i> Stephan	
維管束植物	ハマウツボ	キヨスミウツボ	<i>Phacellanthus tubiflorus</i> Sieb. et Zucc.	
維管束植物	タヌキモ	ミミカキグサ	<i>Utricularia bifida</i> L.	
維管束植物	タヌキモ	ホザキノミミカキグサ	<i>Utricularia racemosa</i> Wall.	
維管束植物	タヌキモ	ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia yakusimensis</i> Masam.	絶滅危惧 II類
維管束植物	スイカズラ	エゾヒョウタンボク	<i>Lonicera alpigena</i> L. subsp. <i>glehnii</i> (Fr. Schm.) Hara	絶滅危惧 I B類
維管束植物	オミナエシ	オオキンレイカ	<i>Patrinia takeuchiana</i> Makino	絶滅危惧 II類
維管束植物	マツムシソウ	マツムシソウ	<i>Scabiosa japonica</i> Miq.	
維管束植物	キク	イナベアザミ	<i>Cirsium magofukui</i> Kitam.	絶滅危惧 I B類
維管束植物	キク	ホソバムカシヨモギ	<i>Erigeron acer</i> L. var. <i>linearifolius</i> (Koidz.) Kitam.	絶滅危惧 I B類
維管束植物	キク	アキノハハコグサ	<i>Gnaphalium hypoleucum</i> DC.	絶滅危惧 I B類
維管束植物	キク	ミズギク	<i>Inula ciliaris</i> (Miq.) Maxim.	
維管束植物	キク	ホソバオグルマ	<i>Inula britannica</i> L. subsp. <i>linariaefolia</i> (Turcz.) Kitam.	絶滅危惧 II類
維管束植物	キク	ヒメヒゴタイ	<i>Saussurea pulchella</i> Fischer	絶滅危惧 II類
維管束植物	キク	キクアザミ	<i>Saussurea ussuriensis</i> Maxim.	
維管束植物	キク	キビシロタンポポ	<i>Taraxacum hideoi</i> Nakai	
維管束植物	トチカガミ	スブタ	<i>Blyxa echinosperma</i> (Clarke) Hook.fil.	絶滅危惧 II類
維管束植物	トチカガミ	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i> (Bl.) Backer	
維管束植物	トチカガミ	セキシヨウモ	<i>Vallisneria natans</i> (Lour.) Hara	
維管束植物	ホロムイソウ	ホロムイソウ	<i>Scheuchzeria palustris</i> L.	
維管束植物	ヒルムシロ	コバノヒルムシロ	<i>Potamogeton cristatus</i> Regel et Maack	絶滅危惧 I B類
維管束植物	イバラモ	ヒロハトリゲモ	<i>Najas indica</i> (Willd.) Cham.	絶滅危惧 I B類
維管束植物	イバラモ	イトトリゲモ	<i>Najas japonica</i> Nakai	絶滅危惧 I B類
維管束植物	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ	<i>Andruris japonica</i> (Makino) Giesen	絶滅危惧 I B類
維管束植物	ホンゴウソウ	ウエマツソウ	<i>Sciaphila tosaensis</i> Makino	絶滅危惧 II類
維管束植物	ユリ	ヒメニラ	<i>Allium monanthum</i> Maxim.	
維管束植物	ユリ	ステゴビル	<i>Caloscordum inutile</i> (Makino) Okuyama et Kitag.	絶滅危惧 II類
維管束植物	ユリ	ミノコバイモ	<i>Fritillaria japonica</i> Miq.	絶滅危惧 II類
維管束植物	ユリ	キバナノアマナ	<i>Gagea lutea</i> (L.) Ker-Gawl.	
維管束植物	ユリ	ユウスゲ	<i>Hemerocallis citrina</i> Baroni var. <i>vespertina</i> (Hara) M.Hotta	
維管束植物	ユリ	サクライソウ	<i>Protolirion sakuraii</i> (Makino) Dandy	絶滅危惧 I A類
維管束植物	ユリ	マルバサンキライ	<i>Smilax vaginata</i> Decne. var. <i>stans</i> (Maxim.) T.Koyama	

維管束植物	ミズアオイ	ミズアオイ	<i>Monochoria korsakowii</i> Regel et Maack	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	アヤメ	ヒオウギ	<i>Belamcanda chinensis</i> (L.) DC.	
維管束植物	ヒナノシヤクジョウ	ヒナノシヤクジョウ	<i>Burmanna championii</i> Thwaites	
維管束植物	ヒナノシヤクジョウ	シロシヤクジョウ	<i>Burmanna cryptopetala</i> Makino	
維管束植物	ホシクサ	クロホシクサ	<i>Eriocaulon parvum</i> Koernicke	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	イネ	ツクシガヤ	<i>Chikusichloa aquatica</i> Koidz.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	イネ	ヒナザサ	<i>Coelachne japonica</i> Hack.	
維管束植物	イネ	インヨウチク	<i>Hibanobambusa tranquillans</i> (Koidz.) Maruyama et H.Okamura	
維管束植物	イネ	メガルカヤ	<i>Themeda triandra</i> Forsk. var. <i>japonica</i> (Willd.) Makino	
維管束植物	サトイモ	カミコウチナンショウ	<i>Arisaema ishizuchiense</i> Murata var. <i>brevicollum</i> Ohashi et J.Murata	絶滅危惧ⅠA類
維管束植物	ミクリ	タマミクリ	<i>Sparganium glomeratum</i> Laest.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	カヤツリグサ	ウマスゲ	<i>Carex idzuroei</i> Franch. et Savat.	
維管束植物	カヤツリグサ	イトヒキスゲ	<i>Carex remotiuscula</i> Wahlenb.	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	カヤツリグサ	サギスゲ	<i>Eriophorum gracile</i> Koch	
維管束植物	カヤツリグサ	ピロードテンツキ	<i>Fimbristylis sericea</i> (Poir.) R.Br.	
維管束植物	カヤツリグサ	コホタルイ	<i>Schoenus komarovii</i> Roshev.	
維管束植物	カヤツリグサ	シズイ	<i>Scirpus nipponicus</i> Makino	
維管束植物	カヤツリグサ	タタラカンガレイ	<i>Schoenoplectus mucronatus</i> (L.) Palla subsp. <i>mucronatus</i> f. <i>tataranus</i> (Honda) T. Koyama	
維管束植物	ラン	ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i> Maxim.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	キエビネ	<i>Calanthe sieboldii</i> Decne.	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ラン	サルメンエビネ	<i>Calanthe tricarinata</i> Lindl.	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ラン	トケンラン	<i>Cremastra unguiculata</i> (Finet) Finet	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ラン	マヤラン	<i>Cymbidium nipponicum</i> (Franch. et Savat.) Makino	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ラン	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i> Thunb.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	ホテイアツモリソウ	<i>Cypripedium macranthum</i> Sw. var. <i>hotei-atsumorianum</i> Sadovsky	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ラン	キバナノアツモリソウ	<i>Cypripedium guttatum</i> Sw. var. <i>yatabeanum</i> (Makino) Pfitzer	絶滅危惧ⅠA類
維管束植物	ラン	イチヨウラン	<i>Dactyloctenium aegyptium</i> L.	
維管束植物	ラン	セッコク	<i>Dendrobium moniliforme</i> (L.) Sw.	
維管束植物	ラン	サワラン	<i>Eleorchis japonica</i> (A.Gray) F.Maack.	
維管束植物	ラン	クロヤツシロラン	<i>Gastrodia pubilabiata</i> Sawa	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ラン	ツリシュスラン	<i>Goodyera pendula</i> Maxim.	
維管束植物	ラン	ヒメミヤマウズラ	<i>Goodyera repens</i> (L.) R.Br.	
維管束植物	ラン	セイタカスズムシソウ	<i>Liparis japonica</i> (Miq.) Maxim.	
維管束植物	ラン	ジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i> Franch. et Savat.	
維管束植物	ラン	スズムシソウ	<i>Liparis makinoana</i> Schltr.	
維管束植物	ラン	フウラン	<i>Neofinetia falcata</i> (Thunb.) Hu	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	ヨウラクラン	<i>Oberonia japonica</i> (Maxim.) Makino	
維管束植物	ラン	ヒナチドリ	<i>Orchis chidori</i> (Makino) Schltr.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	カモメラン	<i>Orchis cyclochila</i> (Franch. et Savat.) Maxim.	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ラン	ウチヨウラン	<i>Orchis graminifolia</i> (Reichb.fil.) Tang et Wang	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	ニョホウチドリ	<i>Orchis joo-iokiana</i> Makino	絶滅危惧ⅠB類
維管束植物	ラン	ミズチドリ	<i>Platanthera hologlottis</i> Maxim.	
維管束植物	ラン	カヤラン	<i>Sarcochilus japonicus</i> (Reichb.fil.) Miq.	
維管束植物	ラン	ハクウンラン	<i>Vexillabium nakaianum</i> F. Maek.	
淡水藻類	シャジクモ	シャジクモ	<i>Chara braunii</i> Gmelin	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	トガリフラスコモ	<i>Nitella acuminata</i> Braun var. <i>subglomerata</i> Braun	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	ヒメフラスコモ	<i>Nitella flexilis</i> Agardh var. <i>flexilis</i>	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	オウフラスコモ	<i>Nitella flexilis</i> Agardh var. <i>longifolia</i> Braun	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	フタマタフラスコモ	<i>Nitella furcata</i> Agardh var. <i>furcata</i> Imahori	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	オトメフラスコモ	<i>Nitella hyalina</i> Agardh	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	フラスコモダマシ	<i>Nitella imaborii</i> Wood	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	チリフラスコモ	<i>Nitella microcarpa</i> A.Braun	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	ナガホノフラスコモ	<i>Nitella morongii</i> T.F.Allen var. <i>spiciformis</i> (Morioka) Imahori	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	ナガフラスコモ	<i>Nitella orientalis</i> T.F.Allen	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	ホンフサフラスコモ	<i>Nitella pseudoflabellata</i> A.Braun var. <i>pseudoflabellata</i> Imahori	絶滅危惧Ⅰ類
淡水藻類	シャジクモ	ハデフラスコモ	<i>Nitella pulchella</i> T.F.Allen	絶滅危惧Ⅰ類

県域絶滅危惧Ⅱ類

分類	科名	種名	学名	環境省カテゴリー
維管束植物	ヒカゲノカズラ	ヒメスギラン	<i>Lycopodium chinense</i> Christ	
維管束植物	ヒカゲノカズラ	アスヒカズラ	<i>Lycopodium complanatum</i> L.	
維管束植物	ハナヤスリ	ヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum vulgatum</i> L.	
維管束植物	イノモトソウ	マツザカシダ	<i>Preris nipponica</i> Shieh	
維管束植物	チャセンシダ	イヌチャセンシダ	<i>Asplenium tripteropus</i> Nakai	
維管束植物	チャセンシダ	イワトラノオ	<i>Asplenium tenuicaule</i> Hayata	
維管束植物	シシガシラ	コモチシダ	<i>Woodwardia orientalis</i> Sw.	
維管束植物	オシダ	ナガバヤブソテツ	<i>Cyrtomium devexiscapulae</i> (Koidz.) Ching	
維管束植物	オシダ	ホオノカワシダ	<i>Dryopteris sbikokiana</i> (Makino) C.Chr.	
維管束植物	イワデンダ	イワヤシダ	<i>Diplazium cavalieranum</i> (Christ) M.Kato	
維管束植物	イワデンダ	シマシロヤマシダ	<i>Diplazium doederleinii</i> (Lueress.) Makino	
維管束植物	ウラボシ	ミヤマウラボシ	<i>Crypsinus veitchii</i> (Bak.) Copel.	
維管束植物	サンショウモ	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i> (L.) All.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ヒノキ	ハイネズ	<i>Juniperus conferta</i> Parlatore	
維管束植物	カバノキ	サクラバハンノキ	<i>Abnus trabeculosa</i> Hand.-Mazz.	準絶滅危惧
維管束植物	カバノキ	アサダ	<i>Ostrya japonica</i> Sargent	
維管束植物	イラクサ	キミズ	<i>Pellionia scabra</i> Benth.	
維管束植物	タデ	ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i> DC.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ナデシコ	ハマナデシコ	<i>Dianthus japonicus</i> Thunb.	
維管束植物	キンポウゲ	ミスミソウ	<i>Hepatica nobilis</i> Schreber var. <i>japonica</i> Nakai	
維管束植物	キンポウゲ	スハマソウ	<i>Hepatica nobilis</i> Schreber var. <i>japonica</i> Nakai f. <i>variegata</i> (Makino) Kitam.	
維管束植物	キンポウゲ	ツルシロカネソウ	<i>Dichocarpum stoloniferum</i> (Maxim.) W.T.Wang et Hsiao	
維管束植物	キンポウゲ	トウゴクサバノオ	<i>Dichocarpum trachyspermum</i> (Maxim.) W.T.Wang et Hsiao	
維管束植物	スイレン	ヒツジグサ	<i>Nymphaea tetragona</i> Georgi	
維管束植物	マツモ	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i> L.	
維管束植物	ドクダミ	ハンゲショウ	<i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Baill.	
維管束植物	ボタン	ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i> (Makino) Miyabe et Takeda	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	オトギリソウ	トモエソウ	<i>Hypericum ascyron</i> L.	
維管束植物	オトギリソウ	ヒメオトギリ	<i>Sarothra japonica</i> (Thunb.) Y.Kimura	
維管束植物	ベンケイソウ	チチツパベンケイ	<i>Hylotelephium sordidum</i> (Maxim.) H.Ohba	
維管束植物	ユキノシタ	モミジチャルメルソウ	<i>Mitella acerina</i> Makino	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ユキノシタ	オオシラヒゲソウ	<i>Parnassia foliosa</i> Hook.fil. et Thoms. var. <i>japonica</i> (Nakai) Ohwi	
維管束植物	ユキノシタ	ウメバチソウ	<i>Parnassia palustris</i> L. var. <i>multisetata</i> Ledeb.	
維管束植物	ユキノシタ	ヤシャビシャク	<i>Ribes ambiguum</i> Maxim.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	バラ	クサボケ	<i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl. ex Spach	
維管束植物	バラ	オオダイコンソウ	<i>Geum aleppicum</i> Jacq.	
維管束植物	バラ	ハマナス	<i>Rosa rugosa</i> Thunb.	
維管束植物	バラ	ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i> L.	
維管束植物	バラ	コゴメウツギ	<i>Stephanandra incisa</i> (Thunb.) Zabel	
維管束植物	マメ	ヨツバハギ	<i>Vicia nipponica</i> Matsum.	
維管束植物	トウダイグサ	ノウルシ	<i>Euphorbia adenochlora</i> Morr. et Decne.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	モチノキ	タマミズキ	<i>Ilex micrococca</i> Maxim.	
維管束植物	ニシキギ	イワウメヅル	<i>Celastrus flagellaris</i> Rupr.	
維管束植物	クロウメモドキ	クロツバラ	<i>Rhamnus davurica</i> Pallas var. <i>nipponica</i> Makino	
維管束植物	ジンチョウゲ	コショウノキ	<i>Daphne kiusiana</i> Miq.	
維管束植物	スミレ	アナマスミレ	<i>Viola mandshurica</i> W.Becker var. <i>crassa</i> Tatew.	
維管束植物	スミレ	マルバスミレ	<i>Viola keiskei</i> Miq. var. <i>glabra</i> (Makino) W.Becker	
維管束植物	スミレ	イソスミレ	<i>Viola grayi</i> Franch. et Savat.	
維管束植物	ミソハギ	ミズマツバ	<i>Rotala pusilla</i> Tulasne	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	アカバナ	ウスゲチヨウジタデ	<i>Ludwigia greatrexii</i> Hara	準絶滅危惧
維管束植物	アカバナ	ミズユキノシタ	<i>Ludwigia ovalis</i> Miq.	
維管束植物	セリ	ハマボウフウ	<i>Glebnia littoralis</i> Fr.Schm. ex Miq.	
維管束植物	イチヤクソウ	シャクジョウソウ	<i>Monotropa hypopitys</i> L.	
維管束植物	サクラソウ	ミヤマタゴボウ	<i>Lysimachiaacroadenia</i> Maxim.	
維管束植物	モクセイ	シオジ	<i>Fraxinus platypoda</i> Oliv.	
維管束植物	マチン	アイナエ	<i>Mitrasacme pygmaea</i> R.Br.	

維管束植物	ガガイモ	フナバラソウ	<i>Cynanchum atratum</i> Bunge	
維管束植物	ガガイモ	アオフナバラソウ	<i>Cynanchum atratum</i> Bunge f. <i>viridescens</i> Hara	
維管束植物	ガガイモ	ツルガシワ	<i>Cynanchum grandifolium</i> Hemsl. var. <i>nikoense</i> (Maxim.) Ohwi	
維管束植物	ガガイモ	スズサイコ	<i>Cynanchum paniculatum</i> (Bunge) Kitag.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ガガイモ	コイケマ	<i>Cynanchum wilfordii</i> (Maxim.) Hemsl.	
維管束植物	アカネ	アリドオシ	<i>Dammacanthus indicus</i> Gaertn.fil.	
維管束植物	アカネ	ホソバオオアリドオシ	<i>Dammacanthus indicus</i> Gaertn.fil. var. <i>lancifolius</i> Makino	
維管束植物	アワゴケ	ミズハコベ	<i>Callitriche palustris</i> L.	
維管束植物	シソ	ハイタムラソウ	<i>Salvia omerocalyx</i> Hayata var. <i>prostrata</i> Satake	
維管束植物	シソ	ヒメナミキ	<i>Scutellaria dependens</i> Maxim.	
維管束植物	シソ	ホナガタツナミソウ	<i>Scutellaria maekawae</i> Hara	
維管束植物	フジウツギ	フジウツギ	<i>Buddleja japonica</i> Hemsley	
維管束植物	ゴマノハグサ	アブノメ	<i>Dopatrium junceum</i> (Roxb.) Buch.-Hamil.	
維管束植物	ゴマノハグサ	サツキヒナノウスツボ	<i>Scrophularia musashiensis</i> Bonati	
維管束植物	ゴマノハグサ	ヒキヨモギ	<i>Siphonostegia chinensis</i> Benth.	
維管束植物	ゴマノハグサ	オオヒキヨモギ	<i>Siphonostegia laeta</i> S.Moore	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	タヌキモ	ノタヌキモ	<i>Utricularia aurea</i> Lour.	
維管束植物	オオバコ	エゾオオバコ	<i>Plantago camtschatica</i> Cham.	
維管束植物	スイカズラ	ヤマヒョウタンボク	<i>Lonicera mochidzukiana</i> Makino var. <i>nomurana</i> (Makino) Nakai	
維管束植物	レンプクソウ	レンプクソウ	<i>Adoxa moschatellina</i> L.	
維管束植物	マツムシソウ	ナベナ	<i>Dipsacus japonicus</i> Miq.	
維管束植物	キキョウ	サワギキョウ	<i>Lobelia sessilifolia</i> Lamb.	
維管束植物	キキョウ	キキョウ	<i>Platycodon grandiflorum</i> (Jacq.) A.DC.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	キク	コバナガンクビソウ	<i>Carpesium faberi</i> Winkler	
維管束植物	キク	ヒメガンクビソウ	<i>Carpesium rosulatum</i> Miq.	
維管束植物	キク	エチゼンオニアザミ	<i>Cirsium occidentalinipponense</i> Kadota	
維管束植物	キク	ヒダアザミ	<i>Cirsium hidaense</i> Kitam.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	キク	タチアザミ	<i>Cirsium inundatum</i> Makino	
維管束植物	キク	カガノアザミ	<i>Cirsium kagamontanum</i> Nakai	
維管束植物	キク	ワカサハマギク	<i>Dendranthema japonicum</i> (Makino) Kitam. var. <i>wakasaense</i> (Shimotomai) Kitam.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	キク	イワギク	<i>Dendranthema zawadskii</i> (Herbich.) Tzvelev	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	キク	フジバカマ	<i>Eupatorium fortunei</i> Turcz.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	キク	ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i> Cass.	
維管束植物	キク	コオニタビラコ	<i>Lapsana apogonoides</i> Maxim.	
維管束植物	キク	オオニガナ	<i>Prenanthes tanakae</i> (Franch. et Savat.) Koidz.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	キク	ミヤコアザミ	<i>Saussurea maximowiczii</i> Herder	
維管束植物	キク	ネコノシタ	<i>Wedelia prostrata</i> (Hook. et Arn.) Hemsl.	
維管束植物	オモダカ	サジオモダカ	<i>Alisma plantago-aquatica</i> L. var. <i>orientale</i> Samuels.	
維管束植物	オモダカ	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i> Makino	準絶滅危惧
維管束植物	トチカガミ	クロモ	<i>Hydrilla verticillata</i> (L.fil.) Caspary	
維管束植物	ヒルムシロ	センニンモ	<i>Potamogeton maackianus</i> A.Bennett	
維管束植物	ヒルムシロ	オヒルムシロ	<i>Potamogeton natans</i> L.	
維管束植物	ヒルムシロ	ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus</i> Poiret	
維管束植物	ヒルムシロ	ヒロハノエビモ	<i>Potamogeton perfoliatus</i> L.	
維管束植物	ヒルムシロ	イトモ	<i>Potamogeton berchtoldii</i> Fieber	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	アマモ	エビアマモ	<i>Phyllospadix japonicus</i> Makino	準絶滅危惧
維管束植物	イバラモ	ホッスモ	<i>Najas graminea</i> Del.	
維管束植物	イバラモ	イバラモ	<i>Najas marina</i> L.	
維管束植物	ユリ	ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>longituba</i> (Miq.) Maxim.	
維管束植物	ユリ	ハナゼキショウ	<i>Tofieldia nuda</i> Maxim.	
維管束植物	ユリ	アマナ	<i>Amana edulis</i> (Miq.) Honda	
維管束植物	アヤメ	ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> Thunb. var. <i>spontanea</i> (Makino) Nakai	
維管束植物	アヤメ	ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i> A.Gray	準絶滅危惧
維管束植物	アヤメ	カキツバタ	<i>Iris laevigata</i> Fisch.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	イネ	アイアシ	<i>Phacelurus latifolius</i> (Steud.) Ohwi	
維管束植物	ミクリ	ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i> Graebn.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	カヤツリグサ	オニスゲ	<i>Carex dickinsii</i> Franch. et Savat.	
維管束植物	カヤツリグサ	キノクニスゲ	<i>Carex matsumurae</i> Franch.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	カヤツリグサ	マメスゲ	<i>Carex pudica</i> Honda	

維管束植物	カヤツリグサ	サドスゲ	<i>Carex sadoensis</i> Franch.	
維管束植物	カヤツリグサ	ヒメハリイ	<i>Eleocharis kamschatica</i> (C.A.Mey.) Komar.	
維管束植物	カヤツリグサ	ミカヅキグサ	<i>Rhynchospora alba</i> (L.) Vahl	
維管束植物	カヤツリグサ	イトイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora faberi</i> C.B.Clarke	
維管束植物	ラン	エビネ	<i>Calanthe discolor</i> Lindl.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	ナツエビネ	<i>Calanthe reflexa</i> Maxim.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i> Blume	
維管束植物	ラン	ミズトンボ	<i>Habenaria sagittifera</i> Reichb.fil.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	ホクリクムヨウラン	<i>Lecanorchis bokurikuensis</i> Masam.	
維管束植物	ラン	コ克蘭	<i>Liparis nervosa</i> (Thunb.) Lindl.	
維管束植物	ラン	トキソウ	<i>Pogonia japonica</i> Reichb.fil.	絶滅危惧Ⅱ類
維管束植物	ラン	ヒトツボクロ	<i>Tipularia japonica</i> Matsum.	
維管束植物	ラン	トンボソウ	<i>Tulotis ussuriensis</i> (Regel) Hara	
維管束植物	ラン	ショウキラン	<i>Yoania japonica</i> Maxim.	

県域準絶滅危惧

分類	科名	種名	学名	環境省カテゴリ
維管束植物	イワヒバ	エゾノヒメクラマゴケ	<i>Selaginella helvetica</i> (L.) Link	
維管束植物	イワヒバ	タチクラマゴケ	<i>Selaginella nipponica</i> Franch. et Savat.	
維管束植物	トクサ	ミズドクサ	<i>Equisetum fluviatile</i> L.	
維管束植物	オシダ	オオカナワラビ	<i>Arachniodes amabilis</i> (Bl.) Tindale	
維管束植物	オシダ	ギフベニシダ	<i>Dryopteris kinkiensis</i> Koidz. ex Tagawa	
維管束植物	オシダ	キノクニベニシダ	<i>Dryopteris kinokuniensis</i> Kurata	
維管束植物	イワデンダ	フモトシケシダ	<i>Deparia pseudoconilii</i> (Serizawa) Serizawa	
維管束植物	イワデンダ	オオメシダ	<i>Deparia pterorachis</i> (Christ) M. Kato	
維管束植物	イワデンダ	ウスバミヤマノコギリシダ	<i>Diplazium mettenianum</i> (Miq.) C.Chr. var. <i>tenuifolium</i> Kurata	
維管束植物	ウラボシ	ピロードシダ	<i>Pyrrosia linearifolia</i> (Hook.) Ching	
維管束植物	マキ	イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don	
維管束植物	ニレ	ハルニレ	<i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehder) Nakai	
維管束植物	クワ	カラハナソウ	<i>Humulus lupulus</i> L. var. <i>cordifolius</i> (Miq.) Maxim.	
維管束植物	ヤドリギ	オオバヤドリギ	<i>Scurrula yadoriki</i> (Sieb.) Danser	
維管束植物	ナデシコ	オオヤマフスマ	<i>Moehringia lateriflora</i> (L.) Fenzl	
維管束植物	モクレン	オオヤマレンゲ	<i>Magnolia sieboldii</i> K.Koch subsp. <i>japonica</i> Ueda	
維管束植物	キンボウゲ	バイカモ	<i>Ranunculus nipponicus</i> (Makino) Nakai var. <i>submersus</i> Hara	
維管束植物	キンボウゲ	マンセンカラマツ	<i>Thalictrum aquilegifolium</i> L. var. <i>sibiricum</i> Regel et Tiling	
維管束植物	スイレン	ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i> J.F.Gmel.	
維管束植物	ケシ	ナガミノツルケマン	<i>Corydalis ochotensis</i> Turcz. var. <i>raddeana</i> (Regel) Nakai	準絶滅危惧
維管束植物	ベンケイソウ	ミツバベンケイソウ	<i>Hylotelephium verticillatum</i> (L.) H.Ohba	
維管束植物	ユキノシタ	ギンバイソウ	<i>Deinathe bifida</i> Maxim.	
維管束植物	バラ	コジキイチゴ	<i>Rubus sumatranus</i> Miq.	
維管束植物	ミカン	フユザンショウ	<i>Zanthoxylum armatum</i> DC. var. <i>subtrifoliatum</i> (Franch.) Kitamura	
維管束植物	モチノキ	クロガネモチ	<i>Ilex rotunda</i> Thunb.	
維管束植物	ニシキギ	ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Sieb.	
維管束植物	ジンチョウゲ	ナニワズ	<i>Daphne pseudo-mezereum</i> A.Gray subsp. <i>jezoensis</i> (Maxim.) Hamaya	
維管束植物	スミレ	エイザンスミレ	<i>Viola eizanensis</i> Makino	
維管束植物	スミレ	アケボノスミレ	<i>Viola rossii</i> Hemsl.	
維管束植物	スミレ	ヒナスミレ	<i>Viola takedana</i> Makino	
維管束植物	アカバナ	ウシタキソウ	<i>Circaea cordata</i> Royle	
維管束植物	セリ	ドクゼリ	<i>Cicuta virosa</i> L.	
維管束植物	セリ	オオバチドメ	<i>Hydrocotyle javanica</i> Thunb.	
維管束植物	セリ	ムカゴニンジン	<i>Siem ninsi</i> L.	
維管束植物	ツツジ	ベニドウダン	<i>Enkianthus cernuus</i> (Sieb. et Zucc.) Makino f. <i>rubens</i> (Maxim.) Ohwi	
維管束植物	ヤブコウジ	カラタチバナ	<i>Ardisia crispa</i> (Thunb.) DC.	
維管束植物	ミツガシワ	ミツガシワ	<i>Menyanthes trifoliata</i> L.	
維管束植物	ガガイモ	キジョラン	<i>Marsdenia tomentosa</i> Morr. et Decne.	
維管束植物	ガガイモ	コカモメヅル	<i>Tylophora floribunda</i> Miq.	
維管束植物	ゴマノハグサ	エゾヒナノウスツボ	<i>Scrophularia grayana</i> Maxim.	

維管束植物	ゴマノハグサ	カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i> Wall.	準絶滅危惧
維管束植物	オミナエシ	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosaeifolia</i> Fisch.	
維管束植物	キク	ヌマダイコン	<i>Adenostemma lavenia</i> (L.) O.Kuntze	
維管束植物	キク	オケラ	<i>Atractylodes japonica</i> Koidz. ex Kitam.	
維管束植物	キク	フジアザミ	<i>Cirsium purpuratum</i> (Maxim.) Matsum.	
維管束植物	キク	カセンソウ	<i>Inula salicina</i> L. var. <i>asiatica</i> Kitam.	
維管束植物	キク	カシワバハグマ	<i>Pertya robusta</i> (Maxim.) Beauv.	
維管束植物	キク	ヤマザトタンポポ	<i>Taraxacum arakii</i> Kitam.	準絶滅危惧
維管束植物	トチカガミ	ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i> (Miq.) Maxim.	
維管束植物	トチカガミ	ミズオオバコ	<i>Ottelia japonica</i> Miq.	
維管束植物	ヒルムシロ	ササバモ	<i>Potamogeton malaianus</i> Miq.	
維管束植物	ユリ	キチジョウソウ	<i>Reineckea carnea</i> (Andr.) Kunth	
維管束植物	ユリ	オモト	<i>Rohdea japonica</i> (Thunb.) Roth	
維管束植物	イグサ	ドロイ	<i>Juncus gracillimus</i> (Buchen.) V.Krecz. et Gontsch.	
維管束植物	イネ	ヒメコヌカグサ	<i>Agrostis nipponensis</i> Honda	準絶滅危惧
維管束植物	イネ	オガルカヤ	<i>Cymbopogon tortilis</i> (Presl) Hitchc. var. <i>goeringii</i> (Steud.) Hand.-Mazz.	
維管束植物	イネ	テンキグサ	<i>Elymus mollis</i> Trin.	
維管束植物	イネ	ヒロハノドジョウツナギ	<i>Glyceria leptolepis</i> Ohwi	
維管束植物	イネ	トキワスキ	<i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb.	
維管束植物	イネ	ヌマガヤ	<i>Moliniopsis japonica</i> (Hack.) Hayata	
維管束植物	イネ	タキキビ	<i>Phaenosperma globosum</i> Munro	
維管束植物	イネ	ヤシャダケ	<i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino	
維管束植物	サトイモ	オオハンゲ	<i>Pinellia tripartita</i> (Blume) Schott	
維管束植物	サトイモ	ヒメザゼンソウ	<i>Symplocarpus nipponicus</i> Makino	
維管束植物	ミクリ	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i> L.	準絶滅危惧
維管束植物	ミクリ	ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i> Rothert	準絶滅危惧
維管束植物	ガマ	コガマ	<i>Typha orientalis</i> Presl	
維管束植物	カヤツリグサ	コウボウムギ	<i>Carex kobomugi</i> Ohwi	
維管束植物	カヤツリグサ	シラコスゲ	<i>Carex rhizopoda</i> Maxim.	
維管束植物	カヤツリグサ	シオクグ	<i>Carex scabrifolia</i> Steud.	
維管束植物	カヤツリグサ	オニナルコスゲ	<i>Carex vesicaria</i> L.	
維管束植物	カヤツリグサ	ケシンジュガヤ	<i>Scleria rugosa</i> R.Br.	
維管束植物	ラン	コイチヨウラン	<i>Ephippianthus schmidtii</i> Reichb.fil.	
維管束植物	ラン	オニノヤガラ	<i>Gastrodia elata</i> Blume	
維管束植物	ラン	ノビネチドリ	<i>Gymnadenia camtschatica</i> (Cham.) Miyabe et Kudo	
維管束植物	ラン	コバノトンボソウ	<i>Platanthera tipuloides</i> Lindl. var. <i>nipponica</i> (Makino) Ohwi	
淡水藻類	ベニマダラ	ベニマダラ	<i>Hildenbrandia rivularis</i> (Liebman) Agardh	準絶滅危惧
淡水藻類	カワモヅク	カワモヅク	<i>Batrachospermum gelatinosum</i> (L.) De Candolle	準絶滅危惧
淡水藻類	カワモヅク	アオカワモヅク	<i>Batrachospermum helminthosum</i> Bory	準絶滅危惧

要 注 目

分 類	科 名	種 名	学 名	環境省カテゴリー
維管束植物	ハナヤスリ	アカハナワラビ	<i>Botrychium nipponicum</i> Makino	
維管束植物	ハナヤスリ	ナガホノナツノハナワラビ	<i>Botrychium strictum</i> Underw.	
維管束植物	コバノイシカグマ	オウレンシダ	<i>Dennstaedtia wilfordii</i> (Moore) Christ	
維管束植物	オシダ	ヌカイタチシダモドキ	<i>Dryopteris indusiata</i> (Makino) Makino et Yamam. ex Yamam.	
維管束植物	イワデンダ	ヘラシダ	<i>Diplazium subsinuatum</i> (Wall. ex Hook. et Grev.) Tagawa	
維管束植物	ウラボシ	ホテイシダ	<i>Lepisorus annuifrons</i> (Makino) Ching	
維管束植物	ウラボシ	ヒメノキシノブ	<i>Lepisorus onoei</i> (Franch. et Savat.) Ching	
維管束植物	ウラボシ	ナガオノキシノブ	<i>Lepisorus angustatus</i> Ching	
維管束植物	ウラボシ	ミヤマノキシノブ	<i>Lepisorus ussuriensis</i> (Regel et Maack) Ching var. <i>distans</i> (Makino) Tagawa	
維管束植物	コウヤマキ	コウヤマキ	<i>Sciadopitys verticillata</i> (Thunb.) Sieb. et Zucc.	
維管束植物	カバノキ	シラカンバ	<i>Betula platyphylla</i> Sukatchev var. <i>japonica</i> (Miq.) Hara	
維管束植物	イラクサ	サンショウソウ	<i>Pellionia minima</i> Makino	
維管束植物	タデ	ニオイタデ	<i>Persicaria viscosa</i> (Hamilt.) H.Gross	
維管束植物	ヤマゴボウ	マルミノヤマゴボウ	<i>Phytolacca japonica</i> Makino	
維管束植物	キンポウゲ	ルイヨウショウマ	<i>Actaea asiatica</i> Hara	
維管束植物	キンポウゲ	リュウキンカ	<i>Caltha palustris</i> L. var. <i>nipponica</i> Hara	

維管束植物	キンボウゲ	アズマシロカネソウ	<i>Dichocarpum nipponicum</i> (Franch.) W.T.Wang et Hsiao
維管束植物	キンボウゲ	サンインシロカネソウ	<i>Dichocarpum ohwianum</i> (Koidz.) Tamura et Lauener
維管束植物	スイレン	コウホネ	<i>Nuphar japonicum</i> DC.
維管束植物	ウマノズクサ	フタバアオイ	<i>Asarum caulescens</i> Maxim.
維管束植物	ウマノズクサ	ウスバサイシン	<i>Asiasarum sieboldii</i> (Miq.) F.Maek.
維管束植物	モウセンゴケ	モウセンゴケ	<i>Drosera rotundifolia</i> L.
維管束植物	アブラナ	ミズタガラシ	<i>Cardamine lyrata</i> Bunge
維管束植物	マンサク	ヒュウガミズキ	<i>Corylopsis pauciflora</i> Sieb. et Zucc.
維管束植物	ユキノシタ	コガネネコノメソウ	<i>Chrysosplenium pilosum</i> Maxim. var. <i>sphaerospermum</i> (Maxim.) Hara
維管束植物	バラ	ミツモトソウ	<i>Potentilla cryptotaeniae</i> Maxim.
維管束植物	バラ	オクチョウジザクラ	<i>Prunus apetala</i> (Sieb. et Zucc.) Franch. et Savat. subsp. <i>pilosa</i> (Koidz.) H. Ohba
維管束植物	バラ	リンボク	<i>Prunus spinulosa</i> Sieb. et Zucc.
維管束植物	バラ	ハスノハイチゴ	<i>Rubus peltatus</i> Maxim.
維管束植物	マメ	オオバクサフジ	<i>Vicia pseudo-orobus</i> Fisch. et Mey.
維管束植物	フウロソウ	ビッチュウフウロ	<i>Geranium yoshinoi</i> Makino
維管束植物	ムクロジ	ムクロジ	<i>Sapindus mukorossi</i> Gaertn.
維管束植物	モチノキ	オクノフウリンウメドキ	<i>Ilex geniculata</i> Maxim. var. <i>glabra</i> Okuyama
維管束植物	モチノキ	ツルツゲ	<i>Ilex rugosa</i> Fr.Schm. var. <i>hondoensis</i> Yamazaki
維管束植物	ツゲ	ツゲ	<i>Buxus microphylla</i> Sieb. et Zucc. var. <i>japonica</i> (Muell. Arg. ex Miq.) Rehder et Wils.
維管束植物	クロウメドキ	ヨコグラノキ	<i>Berchemiella berchemiaefolia</i> (Makino) Nakai
維管束植物	ジンチョウゲ	カラスシキミ	<i>Daphne miyabeana</i> Makino
維管束植物	スミレ	アカネスミレ	<i>Viola phalacrocarpa</i> Maxim.
維管束植物	スミレ	ヒゴスミレ	<i>Viola chaerophylloides</i> (Regal) W.Becker var. <i>sieboldiana</i> (Maxim.) Makino
維管束植物	ミゾハコベ	ミゾハコベ	<i>Elatine triandra</i> Schk.
維管束植物	ヒシ	ヒシ	<i>Trapa japonica</i> Flerov
維管束植物	アリノトウグサ	ホザキノフサモ	<i>Myriophyllum spicatum</i> L.
維管束植物	セリ	ハナビゼリ	<i>Angelica inaequalis</i> Maxim.
維管束植物	セリ	ハナウド	<i>Heracleum nipponicum</i> Kitag.
維管束植物	イチヤクソウ	ウメガサソウ	<i>Chimaphila japonica</i> Miq.
維管束植物	ツツジ	コアブラツツジ	<i>Enkianthus nudipes</i> (Honda) Ohwi
維管束植物	ツツジ	サツキ	<i>Rhododendron indicum</i> (L.) Sweet
維管束植物	ツツジ	シロヤシオ	<i>Rhododendron quinquefolium</i> Bisset et Moore
維管束植物	モクセイ	ヤチダモ	<i>Fraxinus mandshurica</i> Rupr. var. <i>japonica</i> Maxim.
維管束植物	リンドウ	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim.
維管束植物	アカネ	オオキヌタソウ	<i>Rubia chinensis</i> Regel et Maack var. <i>glabrescens</i> (Nakai) Kitag.
維管束植物	ヒルガオ	ハマネナシカズラ	<i>Cuscuta chinensis</i> L.
維管束植物	ゴマノハグサ	オオヒナノウスツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i> Franch.
維管束植物	ハマウツボ	ナンバンギセル	<i>Aeginetia indica</i> L.
維管束植物	オオバコ	トウオオバコ	<i>Plantago major</i> L. var. <i>japonica</i> (Franch. et Savat.) Miyabe
維管束植物	スイカズラ	カンボク	<i>Viburnum opulus</i> L. var. <i>calvescens</i> (Rehder) Hara
維管束植物	スイカズラ	オトコヨウゾメ	<i>Viburnum phlebotrichum</i> Sieb. et Zucc.
維管束植物	キキョウ	シデシャジン	<i>Asyneuma japonicum</i> (Miq.) Briquet
維管束植物	キキョウ	ヒナギキョウ	<i>Wahlenbergia marginata</i> (Thunb.) A.DC.
維管束植物	キク	センボンギク	<i>Aster ageratoides</i> Turcz. subsp. <i>microcephalus</i> (Miq.) Kitam.
維管束植物	キク	ナガエノアザミ	<i>Cirsium longepedunculatum</i> Kitam.
維管束植物	キク	サンインギク	<i>Dendranthema indicum</i> (L.) Des Moulins var. <i>aphrodite</i> (Kitam.) Kitam.
維管束植物	キク	メタカラコウ	<i>Ligularia stenocephala</i> (Maxim.) Matsum. et Koidz.
維管束植物	ヒルムシロ	エビモ	<i>Potamogeton crispus</i> L.
維管束植物	アマモ	アマモ	<i>Zostera marina</i> L.
維管束植物	ユリ	ヤマラッキョウ	<i>Allium thunbergii</i> G.Don
維管束植物	ユリ	ギョウジャニンニク	<i>Allium victorialis</i> L. subsp. <i>platyphyllum</i> Hultén
維管束植物	イネ	セイタカヨシ	<i>Phragmites karka</i> (Retz.) Trin.
維管束植物	サトイモ	ショウブ	<i>Acorus calamus</i> L.
維管束植物	サトイモ	アシウテンナンショウ	<i>Arisaema amurense</i> Maxim. subsp. <i>robustum</i> (Engler) Ohashi et J.Murata var. <i>ovale</i> (Nakai) Ohashi et J.Murata
維管束植物	サトイモ	ムサシアブミ	<i>Arisaema ringens</i> (Thunb.) Schott
維管束植物	サトイモ	ミズバショウ	<i>Lysichiton camtschatcense</i> (L.) Schott
維管束植物	カヤツリグサ	タチスゲ	<i>Carex maculata</i> Boott
維管束植物	カヤツリグサ	タカネマスクサ	<i>Carex planata</i> Franch. et Savat.
維管束植物	カヤツリグサ	ヒメアオガヤツリ	<i>Cyperus extremiorientalis</i> Ohwi

維管束植物	カヤツリグサ	シロガヤツリ	<i>Cyperus pacificus</i> (Ohwi) Ohwi
維管束植物	カヤツリグサ	ミヤマホタルイ	<i>Scirpus honoensis</i> Ohwi
維管束植物	ラン	ジンバイソウ	<i>Platanthera florenti</i> Franch. et Savat.
維管束植物	ラン	ヤマサギソウ	<i>Platanthera mandarinorum</i> Reichb.fil. var. <i>brachycentron</i> (Franch. et Savat.) Koidz.
維管束植物	ラン	キノチドリ	<i>Platanthera ophrydioides</i> Fr.Schm. var. <i>monophylla</i> Honda
淡水藻類	シャジクモ	ホリカワフラスコモ	<i>Nitella elegans</i> Pal var. <i>horikawae</i> Imahori
淡水藻類	シャジクモ	トゲフラスコモ	<i>Nitella elegans</i> Pal var. <i>spinosa</i> Imahori
淡水藻類	シャジクモ	ホソバフラスコモ	<i>Nitella graciliformis</i> J.Groves
淡水藻類	シャジクモ	キヌイトフラスコモ	<i>Nitella gracilis</i> C.A.Agardh
淡水藻類	シャジクモ	ヒナフラスコモ	<i>Nitella gracillima</i> T.F.Allen var. <i>gracillima</i>
淡水藻類	シャジクモ	サカゴフラスコモ	<i>Nitella megacarpa</i> T.F.Allen var. <i>inversa</i> Imahori
淡水藻類	シャジクモ	サキボソフラスコモ	<i>Nitella mucronata</i> Miquel var. <i>mucronata</i>
淡水藻類	シャジクモ	ミゾフラスコモ	<i>Nitella oligospira</i> Braun
淡水藻類	シャジクモ	モリオカフラスコモ	<i>Nitella rigida</i> Allen var. <i>moriokae</i> Imahori
淡水藻類	シャジクモ	オニフラスコモ	<i>Nitella rigida</i> Allen var. <i>rigida</i>
淡水藻類	シャジクモ	タナカフラスコモ	<i>Nitella rigida</i> Allen var. <i>tanakiana</i> Imahori
淡水藻類	シャジクモ	サイトウフラスコモ	<i>Nitella rigida</i> Allen var. <i>saitoiana</i> Imahori
淡水藻類	シャジクモ	シンフラスコモ	<i>Nitella shinii</i> Imahori
淡水藻類	シャジクモ	チビフラスコモ	<i>Nitella tenuissima</i> Kützing var. <i>pusilla</i> Imahori
淡水藻類	カワモヅク	バトラコスベルナムアルクワタム	<i>Batrachospermum arcuatum</i> Kylin
淡水藻類	カワモヅク	ホソカワモヅク	<i>Batrachospermum turfosum</i> Bory
淡水藻類	ネンジュモ	アシツキ	<i>Nostoc verrucosum</i> Vaucher
淡水藻類	ミズオ	ミズオ	<i>Hydrurus foetidus</i> (Villars) Kirchner
淡水藻類	オーキステイス オフリジュウム	オフリジュウム	<i>Zoochlorella parasitica</i> Brandt <i>Ophrydium versatile</i> (O.F.Muller)

(5) 凡 例

種名¹⁾

科名¹⁾

福井県カテゴリー

学名¹⁾

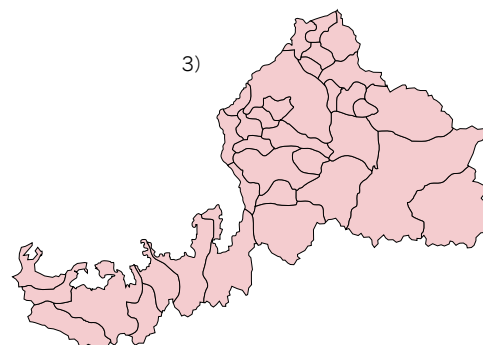
環境省カテゴリー²⁾

●**選定理由** 生育地の数と個体数およびそれらの減少傾向、既知の生育地における生育状況等について記載してある。

●**生育環境** 当該種の生育環境について記載してある。

●**危険要因** 当該種の存続にとって脅威となっている要因で、現在または過去に働いたもの、ならびに近い将来に予測されるものを列記してある。

●**分布域** 【県内】現時点での確実な生育地を示すものではなく、「福井県植物誌」(渡辺2003)および植物部会員から提出された過去における確認記録を基に分布情報が得られた市町村を掲載した。これらの中には最近の確認情報がなく、生育地が消失した可能性のある市町村も含まれている。なお、「あわら市」については「旧芦原町」と「旧金津町」に区分してある。



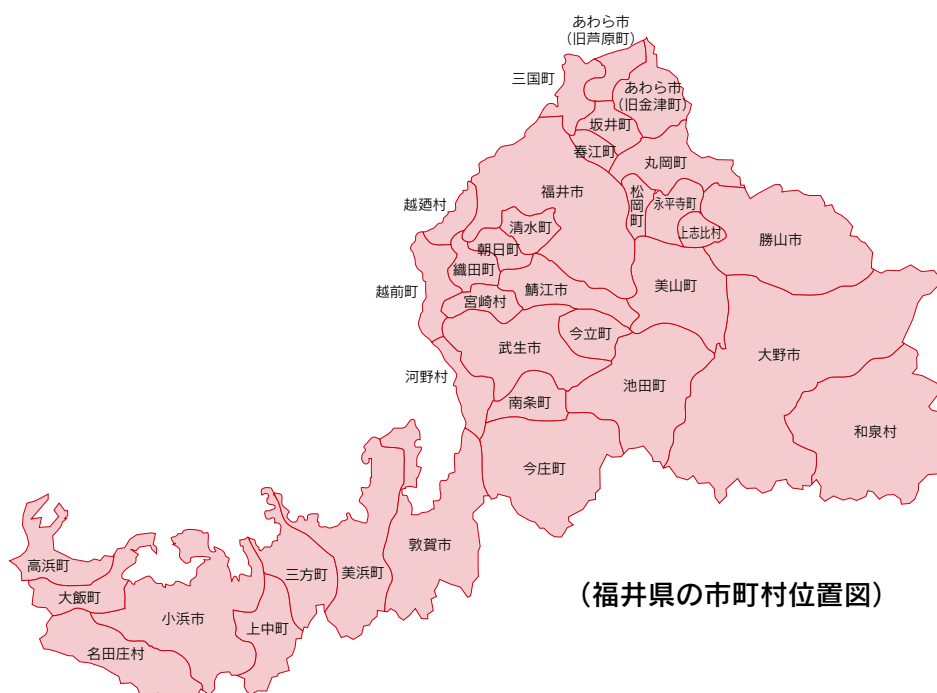
(分布情報のある市町村)

【国内】日本における分布について記載してある。

注) 1: 維管束植物においては主に平凡社刊「日本の野生植物」(1981~1992)に基づいて、淡水藻類においては主に内田老鶴圃新社刊「日本淡水藻図鑑」(1977)に基づいて記載した。

2: 維管束植物においては「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 植物(維管束植物)」(環境庁自然保護局野生生物課2000)に基づいて、淡水藻類においては「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 植物(維管束植物以外)」(環境庁自然保護局野生生物課2000)に基づいて記載した。

3: 本文に記載した県内の分布域を図で示した。「あわら市」については「旧芦原町」と「旧金津町」に区分してある。



(福井県の市町村位置図)